

# JIS

## 紙及び板紙—静及び動摩擦係数の測定方法

JIS P 8147 : 2010

(JAPAN TAPPI/JSA)

平成 22 年 2 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 紙・パルプ技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	尾 鍋 史 彦	東京大学名誉教授
(委員)	石 田 満 男	富士ゼロックスエンジニアリング株式会社
	大 場 悟	全国クラフト紙袋工業組合
	大 盛 啓 一	日本紙パック株式会社
	岡 山 隆 之	東京農工大学
	川 岸 秀 治	日本大昭和板紙株式会社
	河 崎 雅 行	日本製紙株式会社
	熊 谷 健	熊谷理機工業株式会社
	佐 藤 達 也	三菱製紙株式会社
	豊 福 邦 隆	紙パルプ技術協会
	中 川 好 明	日本製紙連合会
	生 原 道 夫	大日本印刷株式会社
	星 野 隆 平	北越紀州製紙株式会社
	見 門 秀 幸	王子製紙株式会社
	水 谷 壽	株式会社東洋精機製作所
	若 松 操	レンゴー株式会社
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.9.1 改正：平成 22.2.22

官 報 公 示：平成 22.2.22

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：紙・パルプ技術専門委員会 (委員長 尾鍋 史彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 測定方法の種類	2
5 原理	2
6 ISO 水平法	2
6.1 概要	2
6.2 装置	3
6.3 試料の採取	4
6.4 調湿	4
6.5 試験片の調製	5
6.6 操作	6
6.7 計算	8
6.8 精度	8
7 水平法	9
7.1 概要	9
7.2 装置	9
7.3 試験片の調製	10
7.4 操作	10
7.5 計算	11
8 傾斜法	11
8.1 概要	11
8.2 装置	11
8.3 試験片の調製	12
8.4 操作	12
8.5 計算	12
9 報告	13
附属書 A (参考) ISO 水平法による結果の表記のための記号及び識別システム	14
附属書 B (参考) 水平法による摩擦試験に用いられる測定条件の概要	15
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	16
解 説	18

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会（JAPAN TAPPI）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS P 8147:1994** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

## 紙及び板紙— 静及び動摩擦係数の測定方法

## Paper and board—

## Determination of the static and kinetic coefficients of friction

## 序文

この規格は、1999年に第1版として発行された **ISO 15359** を基とし、国内で広く利用している水平法又は傾斜法も選択できるように旧 **JIS** の内容を含め、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、水平法及び傾斜法を用いた摩擦試験方法並びに摩擦係数を測定する手順について規定する。**ISO 水平法**による測定方法では、最初の状態の静摩擦係数及び／又は一定回数表面が磨耗した後の静及び動摩擦係数を測定する。水平法による測定方法では、最初の状態の静摩擦係数及び／又は動摩擦係数を測定する。傾斜法による測定方法では、最初の状態の静摩擦係数を測定する。

紙及び板紙に適用できる。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 15359:1999**, Paper and board—Determination of the static and kinetic coefficients of friction—  
Horizontal plane method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS P 0001** 紙・板紙及びパルプ用語

**注記** 対応国際規格：**ISO 4046**, Paper, board, pulp and related terms—Vocabulary (MOD)

**JIS P 8110** 紙及び板紙—平均品質を測定するためのサンプリング方法

**注記** 対応国際規格：**ISO 186**, Paper and board—Sampling to determine average quality (IDT)

**JIS P 8111** 紙、板紙及びパルプ—調湿及び試験のための標準状態

**注記** 対応国際規格：**ISO 187**, Paper, board and pulps—Standard atmosphere for conditioning and testing and procedure for monitoring the atmosphere and conditioning of samples (MOD)